あり方検討会開催のきっかけ:施設の老朽化

大規模修繕、建替をする場合、研究所の将来のあり方とセットで議論を行う必要がある。

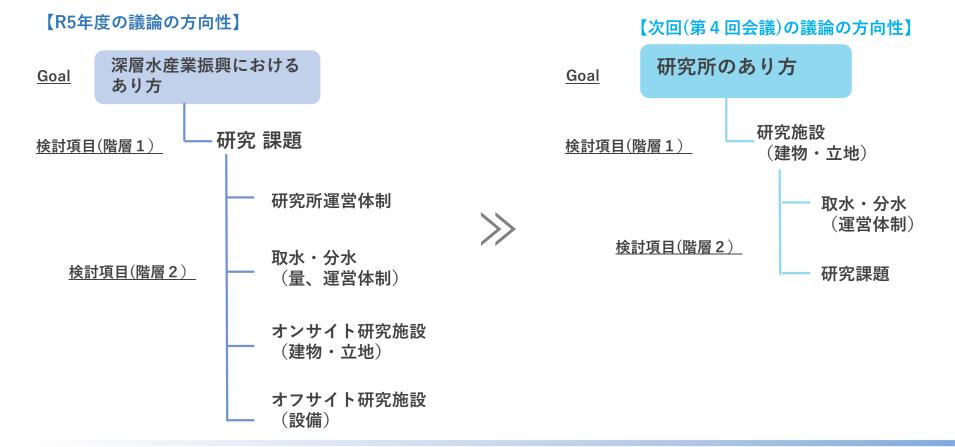
R5年度全3回の検討会の議論:深層水産業振興におけるあり方

研究所のあり方だけでなく、深層水産業のあり方まで広範な議論がなされた。

R6年度次回の検討会の議論:研究所のあり方

R5年度の議論をベースに、研究所のあり方(建物、取水・分水機能、研究機能)に

絞った議論としたい。



高知県庁工業振興課

【現状調査】

【個別調査】

【富山県、静岡県、沖縄県】

【分析・検討】

【基本構想】

研究所の沿革

施設 (立地、建物構造)

研究施設の姿 (立地、建物構造)

> 研究施設(ハード) &取水・分水管理

研究所の施設状態 (建物、取水分水施設) 取水・分水機能 (分水方法、取水量の構成、 管理運営体制)

取水分水の運営方法

これまでの研究内容

研究機能 (設備・研究内容など)

取り組むべき研究課題 (オンサイト、オフサイトで整理、必要な設備、研究所の運営、研究資金調達方法など)

研究施設の運営 (研究体制・参画機関 ・資金調達方法など)

研究体制(ソフト)